

子どもたちは、スマホと上手に付き合っていますか？（2年次）
～安房の子どもの実態調査から～

1. 設定理由

社会は情報化・グローバル化などが進み、瞬時に様々な情報のやり取りがされている。そして、そのための情報端末は日々便利になっている。それはパソコンにとどまらず、スマートフォン（以下スマホ）やタブレットなど持ち運べるものが多くなり、いつでも・どこでも使用できるようになった。事実、内閣府の調査によると、91.5%の青少年が情報端末を所持しているという。（『平成27年度 青少年のインターネット利用環境実態調査』内閣府）

安房地域の子どもたちも、情報端末を手にする機会が増えている。平成22年度の安房教育研究所調査研究部の研究においても、安房の中学生の約48%が携帯電話を持ち、それは全国中学生の平均の約46%を上回るものであった。この調査以降、従来の携帯電話よりも機能が多様なスマホの普及により、情報端末の所持率はますます増加していることが予想される。さらには、携帯ゲーム機などでも他の人と情報のやりとりができるなど、大人が思っているよりも子どもたちが情報端末に触れる機会が多いと思われる。実際に、授業で情報端末を扱う際に、驚くほど堪能に操作する児童・生徒の様子に驚くことがある。

そして、やはり、小中学校においても、スマホをはじめとする情報端末を介したトラブルを耳にしたり、子どもたちの生活の乱れを目にしたりするという話が聞かれることも多くなった。ネットでのいじめや過度の睡眠不足などは、その代表的なものである。今後は、詐欺や出会い系などの、より大きなトラブルに巻き込まれないとも言い切れない。

この「便利だが、なんとなく怖い道具」を、子どもたちがよりよく使えるような手立てを打つことは急務である。

そこで、2年次は1年次の研究結果をもとに、より深く掘り下げるための追加調査を実施した。そして、そこからスマホに対する認識やよりよい使い方を提言する。

2. 研究の目的

- (1) 安房の児童・生徒の情報端末との関わり方について実態を明らかにする
- (2) 情報端末との関わり方や、生徒と保護者・生徒の年齢差によるルールや使用目的の違いを明らかにし、保護者への提言となる「情報端末使用に関するリーフレット」を作成する。

3. 研究内容と方法

- (1) 安房地域の中学1年生全生徒と、中学3年生の全保護者にアンケートを実施。
- (2) 回収したアンケートから、傾向を探りリーフレットを作成し、配付する。

4. 結論

○スマホを安全に使うには、家庭での利用についての定期的な振り返り、ルール約束のこまめな確認変更が望ましい。

第1章 本年度の調査研究

1 研究主題

子どもたちは、スマホと上手に付き合っていますか？

～安房の子どもの実態調査から～

2 主題設定の理由

社会は情報化・グローバル化などが進み、瞬時に様々な情報のやり取りがされている。そして、そのための情報端末は日々便利になっている。それはパソコンにとどまらず、スマートフォン（以下スマホ）やタブレットなど持ち運べるものが多くなり、いつでも・どこでも使用できるようになった。事実、内閣府の調査によると、91.5%の青少年が情報端末を所持しているという。（『平成27年度 青少年のインターネット利用環境実態調査』内閣府）今やほとんどの大人が、何かしらの情報端末を持っているといっても過言ではない。街を歩く人も、電車に乗っている人も、飲食店でご飯を食べる際にも、スマホやタブレットを手にしている姿を見かける。何かわからない事柄があれば、すぐに検索し、理解することができる。それが、言葉の意味でも、道順でも、おいしい料理を出すお店であっても、である。また、しばらく前に、「おひとり様」という言葉が流行ったが、今は情報端末を通して、一人でいる時間でも今の自分の行動をネット上に掲載することで、コメントをやり取りことができ、誰かとつながっているという安心感を得られる。

このように、情報端末は手軽に調べ物ができたり、人とコミュニケーションをとることができたりと、使用するメリットが大きい。その反面、依存症的な使用の仕方や匿名性が高いというSNSの特徴を反映し、行き過ぎたネット上の暴言なども問題視され、デメリットもある。

安房地域の子どもたちも、情報端末を手にする機会が増えている。平成22年度の安房教育研究所調査研究部の研究においても、安房の中学生の約48%が携帯電話を持ち、それは全国中学生の平均の約46%を上回るものであった。この調査以降、従来の携帯電話よりも機能が多様なスマホの普及により、情報端末の所持率はますます増加していることが予想される。さらには、携帯ゲーム機などでも他の人と情報のやりとりができるなど、大人が思っているよりも子どもたちが情報端末に触れる機会は多いと思われる。実際に、授業で情報端末を扱う際に、驚くほど堪能に操作する児童・生徒の様子に驚くことがある。

そして、やはり、小中学校においても、スマホをはじめとする情報端末を介したトラブルを耳にしたり、子どもたちの生活の乱れを目にしたりするという話が聞かれることも多くなった。ネットでのいじめや過度の睡眠不足などは、その代表的なものである。今後は、詐欺や出会い系などの、より大きなトラブルに巻き込まれないとも言い切れない。

この「便利だが、なんとなく怖い道具」を、子どもたちがよりよく使えるような手立てを打つことは急務である。

そこで、2年次は1年次の研究結果をもとに、より深く掘り下げるための追加調査を実施した。そして、そこからスマホに対する認識やよりよい使い方を提言する。

3 研究の目的

- (1) 安房の児童・生徒の情報端末との関わり方について実態を明らかにする。
- (2) 情報端末との関わり方や、生徒と保護者・生徒の年齢差によるルールや使用目的の違いを明らかにし、保護者への提言「情報端末使用に関するリーフレット」を作成する。

4 研究内容与方法

(1) 調査対象及び内容

①調査対象

- 1年次 ・安房郡市内で所員の在籍する学校の小学4年生～中学3年生の児童・生徒
- 2年次 ・安房地域の中学1年生全生徒と、中学3年生の全保護者

②調査内容

- 1年次 ・スマートフォン等情報端末の所持率や使用時間、使用目的等の基礎調査
・生徒自身の規範意識に関する調査
・コミュニケーション能力等の人との関わりに関する調査
・自尊感情や自分自身の性格や行動、学習等に関する調査
- 2年次 ・中学1年生に対する、昨年と同一のアンケートの実施、および小学6年生時の回答との比較・検討
・中学3年生の保護者に対するアンケート調査の実施、およびスマホ使用に関する約束についての分析

(2) 調査期間

- 1年次 ・平成27年9月28日 ～ 10月23日
- 2年次 ・平成28年6月下旬 ～ 7月15日

(3) アンケート回収数

1年次	
小学4年生	570名
小学5年生	554名
小学6年生	497名
小学生全体	1,621名
中学1年生	683名
中学2年生	628名
中学3年生	604名
中学生全体	1,915名
合計	3,536名

2年次	
中学1年生	889名
中学3年生保護者	784名
合計	1,673名

(4) 調査の処理

- ・回収したマークシートのデータをSQSソフトで読み取る。
- ・読み取ったデータをSPSSソフトで処理し、Excelに入力し、クロス集計をした後、グラフ化し、傾向を探る。
- ・集計結果について χ^2 検定を行い、有意水準5%で相関関係があるかどうかを確認する。

第2章 1年次の研究

【基礎調査から】

子どもたちの約70%が、スマホを使用していることがわかる。また、情報端末の使用目的のうち、70%の子どもたちがゲームや動画視聴、検索など個人でできることを行っていて、SNS等のコミュニケーションツールを使っているのは、約30%未満にとどまっている。また、自分のものではないインターネット端末を使用している子どもたちが、約30%いる。インターネット端末にフィルタリングされているかどうかわからない、フィルタリングされていないと答えた子どもたちが約70%いて、保護者のものを使用している場合などは、フィルタリングされていないことも考えられる。その場合、子どもたちにとって望ましくないサイトへのアクセスや、危険なサイトへのアクセスも考えられ、その危険性が大きいと思われる。その情報端末を使用し始めた時期は、半数以上が小3未満と低年齢化が進んでいることもわかる。また、情報端末の使用を、食事中や家庭学習中に行っている子どもたちも10%強いて、場にそぐわない使用も見られる。さらに、直接会ったことのない人と、インターネット上で会話している子どもたちが13%も見られる。一方、情報端末の使用にあたり、誤った知識を有している子どもたちは5%程度、わからないと答えた子どもたちも30%程度見られる。

【規範意識との関わりから】

ネット使用における家庭内約束との結果をみても、ほぼすべての規範意識の項目において、約束がないと回答した子どもほど、悪い回答（よくある・たまにある）をしていることが分かった。約束がないと回答した子どもの家庭環境は、放任であったり、なかなか子どもと向き合えなかったりしている可能性がある。このことが、必然的に規範意識の低下につながっていると考えられる。

子どもにとってスマホを始め情報端末機器を早い時期から手に入れ、しかも家庭内の使用におけるルールが曖昧であった場合、ネットの使用時間が長くなり、生活習慣に乱れが生じることが分かった。また、法に抵触する非行や、人に対しての思いやりのない行動の割合も共に高くなっていく。さらに、保護者や教員など大人の言うことを聞かない傾向も強くなるが、これについては結果として捉えることもできるが、一方で大人の言うことを聞かなくても済む家庭等の環境が一つの原因となって、ネット使用における正しいルールが徹底されず、使用に限度がなくなってしまっているということも言えるのではないだろうか。

【コミュニケーションとの関わりから】

「食事中」の使用は、他の時間帯の使用に比べ、「話している相手の気持ちを考えながら聞く」「相手に伝わるように話す」「苦手な人とも一緒に話し合える」「グループ活動で進んで活動する」等の質問において、「できる」「大体できる」の割合がやや低いことがわかる。家族と食事をする場である「食事中」に使用しているということは、面と向かってのコミュニケーションを大切にしていないことの表れであると推測される。家族と話をすることよりも、ゲームやSNS等のやりとりを優先させることで、コミュニケーション能力を高める時間が減少しているのではないかと考える。

【自分自身の気持ちや考えとの関わりから】

使用時間については、全く使わないよりも1時間程度使用している児童・生徒のほうが、自分から進んで調べたり、夢や目標に向かって努力したりする割合が高くなっている。これは、ある程度スマホやPCを使ったほうが、まったく使わないよりも、いろいろなことに対して取り組む力がついていると考えられる。そして、使用する際の約束が何かしらあるほうが、全くない児童・生徒よりも進んで調べたり、夢や目標に向かって努力したりする割合が高い。

このことから、スマホやPCなどの情報端末を使う際には、約束を決め、1時間程度の使用をすることは影響がないと考える。

(1) 1年次のまとめ

- ・子どもが情報端末機器を早い時期から手に入れ、しかも家庭内の使用におけるルールが曖昧であった場合、ネットの使用時間が長くなり、生活習慣に乱れが生じる。また、法に抵触する非行や、人に対しての思いやりのない行動の割合も高くなっていく。そして、保護者や教員など、大人の言うことを聞かない傾向も強くなる。
- ・家庭等の環境が一つの原因となって、ネット使用における正しいルールが徹底されず、使用に限度がなくなってしまうこともある。
- ・「食事中」の使用は、コミュニケーションの低下につながる。
- ・情報端末を1～2時間程度利用することは、コミュニケーション能力の低下に、あまり影響はない。
- ・スマホや情報端末は、約束を決めて、1時間程度使用することはあまり影響がない。

(2) 今後の方向性

- ・家庭において、子どもがネットを使用し始める段階で、その発達段階に合わせてどのような使用上の約束を決めることができれば、子どもの適切なネットの使用に繋がるのか明らかにするために、今後は以下の3点を中心に追跡調査をしていきたい。

①保護者がどのような約束のもと、子どもにスマホを与えているかの実態調査（中学3年生保護者）

②回答者の学年を限定した再考察及び調査

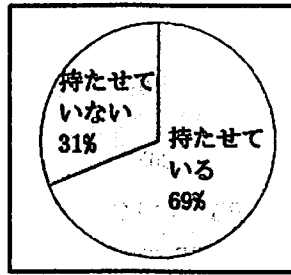
③今後の調査結果を広く周知し、活用していく方策についての検討

第3章 2年次の研究

1 保護者アンケート結果（中学3年生）

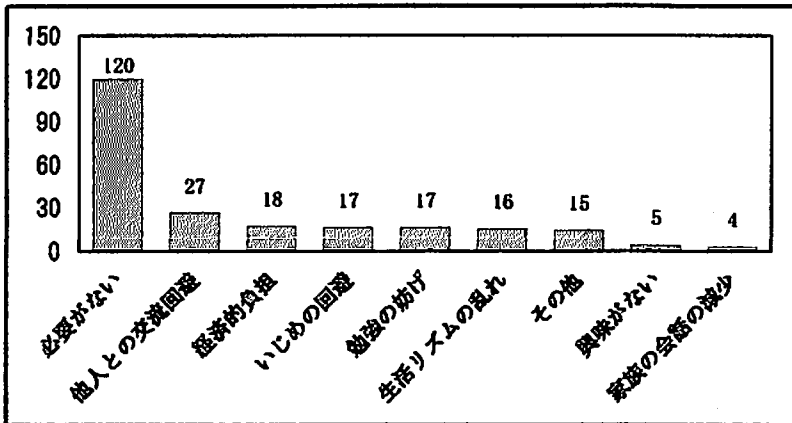
あなたは、お子様にスマホ又は携帯を持たせていますか。

持たせている	508
持たせていない	230

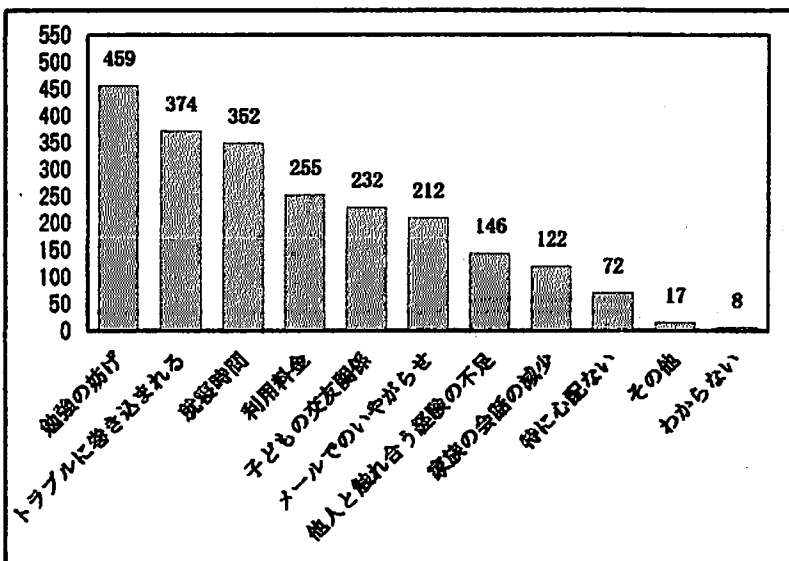


携帯電話を持たせていない1番の理由は何ですか。（どれか1つにマーク）

「携帯電話を持たせていない」と回答した保護者 230名



あなたが、子どもに携帯電話を持たせていることで、あるいは持たせるとした場合に心配な点は、どのようなことですか。（当てはまるものすべてにマーク）

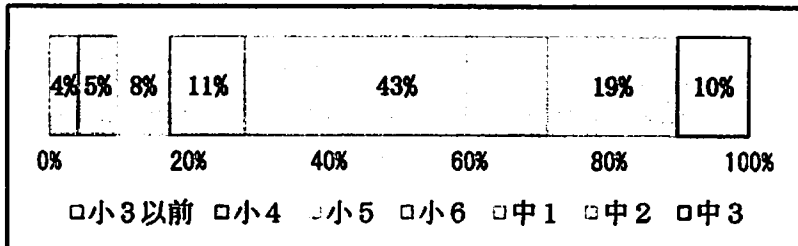


【考察】

・携帯電話を子どもを持たせていない保護者の多くは、「必要がない」から持たせていないと考え、「勉強の妨げになる」という理由を挙げた保護者は少ない。しかし、いざ子どもを持たせてしまうと、「勉強の妨げ」「就寝時間」を心配する保護者が多い。子どもが携帯電話に夢中になり、寝る時間が遅くなったり、睡眠時間が少なくなったりすることで、勉強への集中や勉強時間の減少、学力の低下など、具体的に心配になってきていると考えられる。

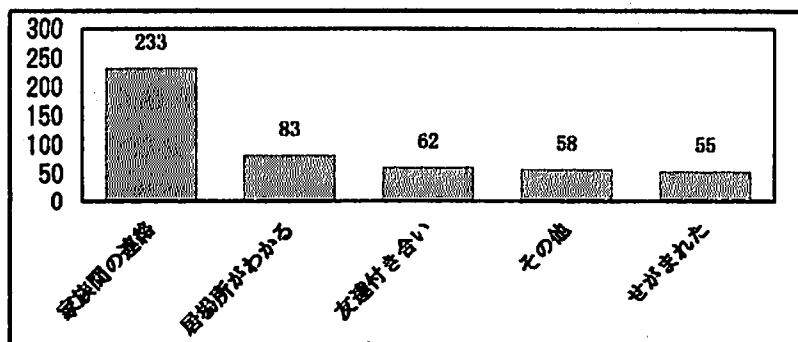
あなたのお子様に携帯電話を持たせたのは、何年生の時でしたか。

「携帯電話を持たせている」と回答した保護者508名（無答12）

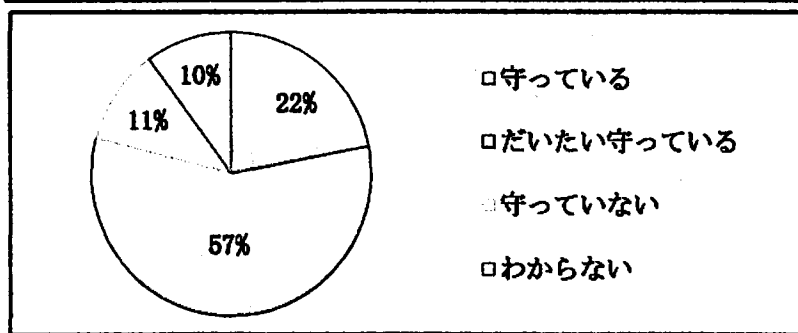


あなたのお子様に携帯電話を持たせた1番の理由は何ですか。（どれか1つにマーク）

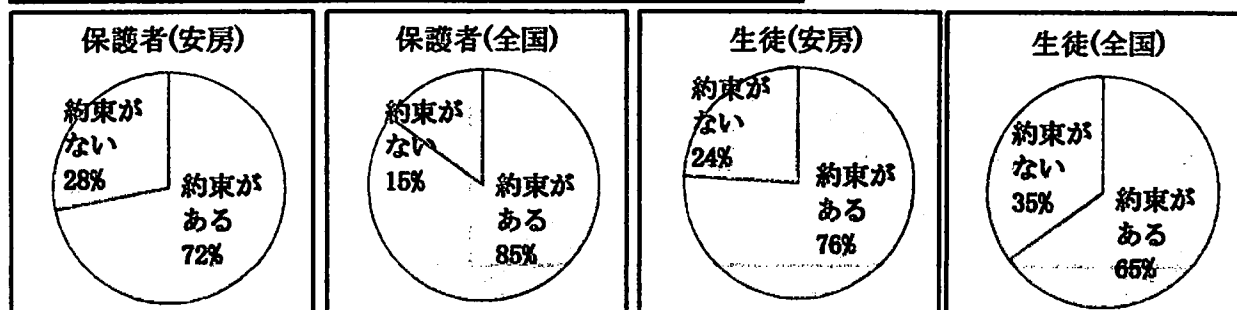
「携帯電話を持たせている」と回答した保護者508名（無答17）



あなたのお子様は、決められたルールを守っていると思いますか。



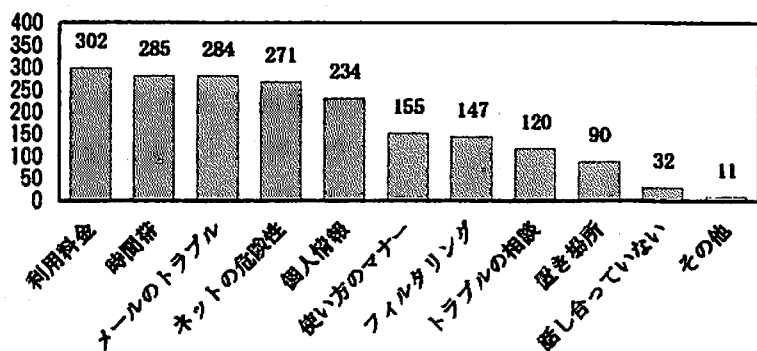
あなたのご家庭では、お子様の携帯電話の使用について、約束を決めていますか。



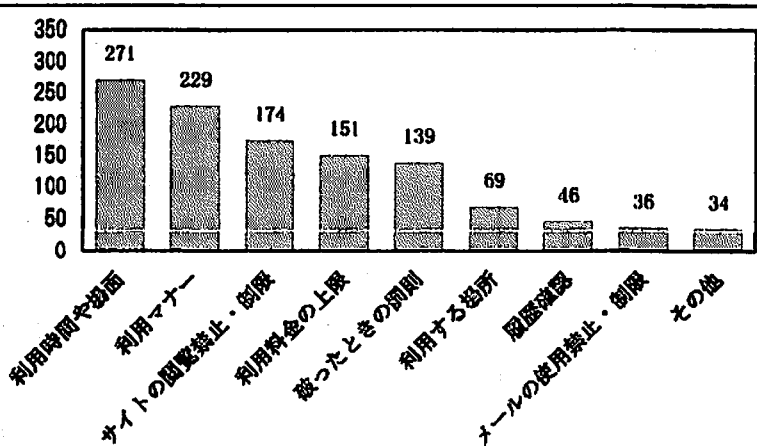
・携帯電話を持ち始めることが急激に増えるのは、中学1年生である。携帯電話を所持している子どもの43%が、この時期に持ち始めている。中学校に入学し、部活動や塾等で帰宅時間が遅くなることで、家族間で連絡をとる必要性が出てくることから、保護者が子どもに与えていると考えられる。

・約束に関しては、保護者の意識よりも子どもの方が、約束があると感じている。その結果から、安房地域の子どもは、全国に比べ、保護者が子どもとよく話し合った上で約束が作成されていると考えられる。

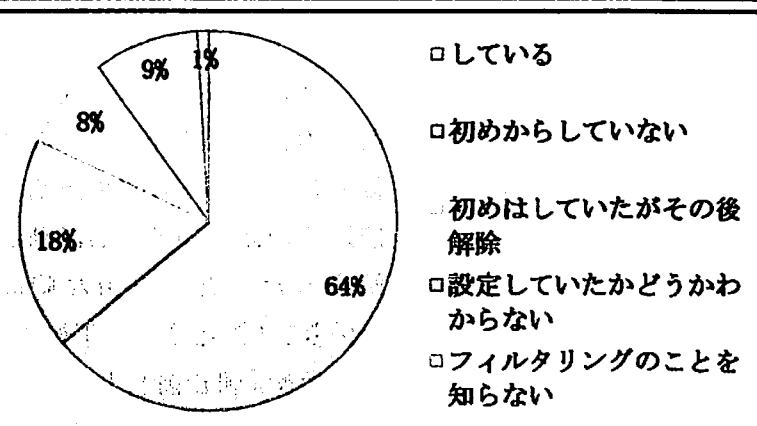
あなたのご家庭では、携帯電話を持たせる前に、次のようなこととお子様と話し合ったり、説明したりしましたか。（当てはまるものすべてにマーク）



どのようなルールを決めていますか。（当てはまるものすべてにマーク）



あなたのお子様の携帯電話には、フィルタリング（アクセス制限）を設定していますか。（どれか1つにマーク）

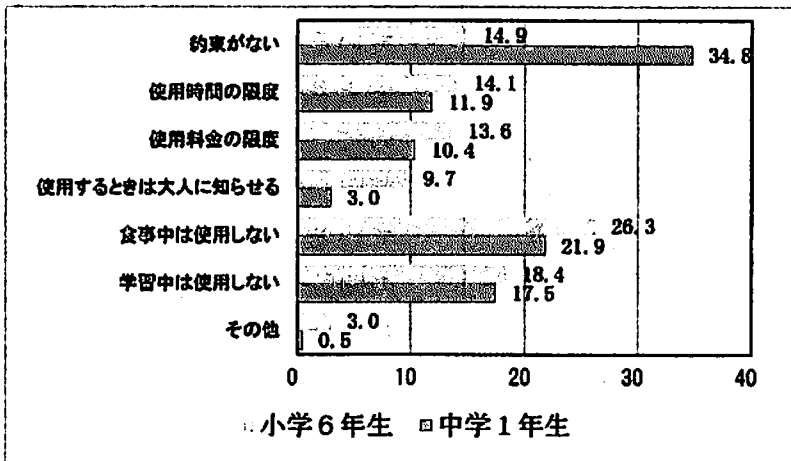


・半数以上の家庭において、「メールのトラブル」「ネットの危険性」については、事前に話し合ったり説明したりしている。しかし、実際に子どもと決めているルールについて、「メールの使用禁止・制限」をしているのは所持している人の約7%、「サイトの閲覧禁止・制限」をしているのは、約34%となっている。また、「フィルタリング」について事前に説明しているという回答は、全体の約30%であるが、実際にフィルタリングをしている家庭は64%ある。購入時に、店舗で説明されることや「ネットの危険性」の心配から、フィルタリングをしている家庭が増えていることが考えられる。フィルタリングをすることで、細かな説明を省いているのではないかと推測される。

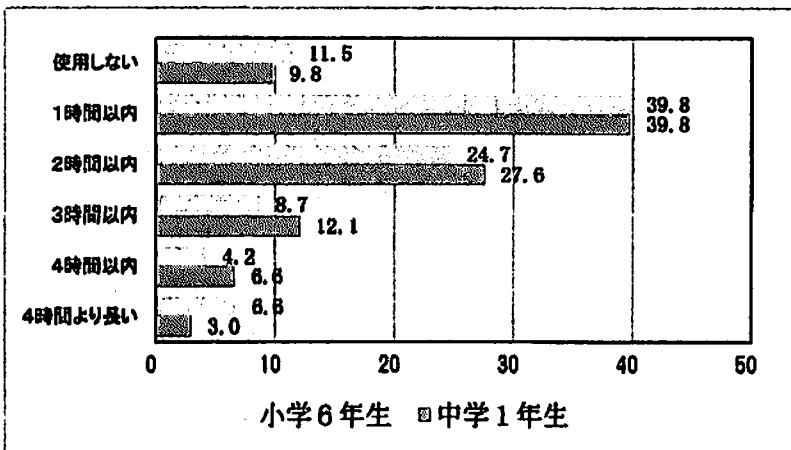
・「利用する場所」や「履歴確認」など、保護者の管理下に置くようなルールについては、それぞれ約10%となっている。履歴確認がされていないということは、子どもが自由に使える状況があるといえる。

2 小学6年生→中学1年生の経年変化について

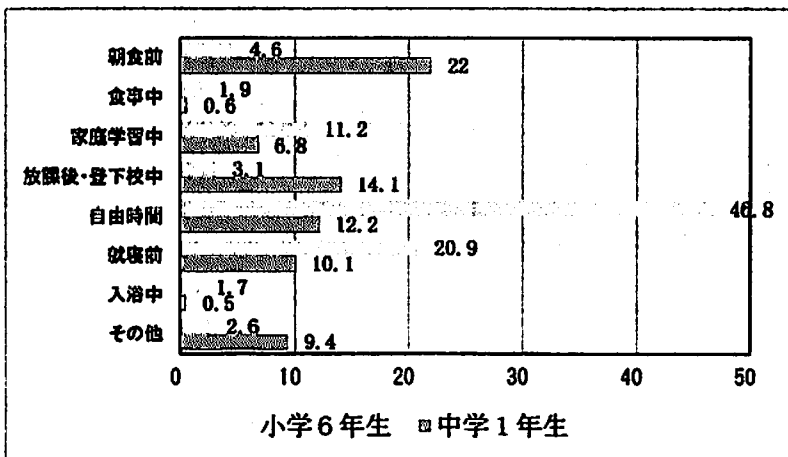
インターネット端末を使う時、どんな約束がありますか。(当てはまるものすべてにマーク)



平日にインターネット端末を使用する時間を教えてください。

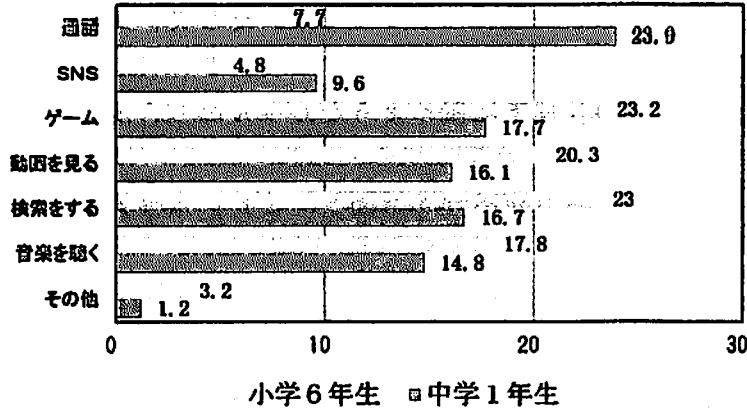


平日にインターネット端末はどんな時に使いますか。(当てはまるものすべてにマーク)



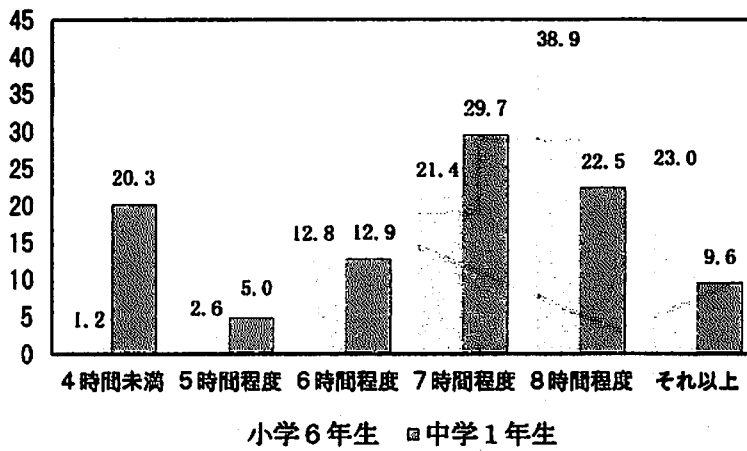
- ・ 約束の有無については、どの項目においても、小学6年生の時と比べ中学1年生になると、「約束がある」割合が減少傾向にあることがわかった。特に「約束がない」割合は、中学1年生になると20%程度増加している。スマホを持ち始めた子どもが多く、子どもたちの置かれている環境が大きく変わる中学1年生という時期は、スマホに関わる約束が曖昧になるので、ルールを再確認する必要があると考えられる。
- ・ 中学生になると、部活動や塾通いなどで自由な時間が小学生よりも減るが、長時間のスマホの使用が増えている。家庭で行うべきことは、小学生も中学生も変わらないので、使用場面の工夫と睡眠時間を削っていることが考えられる。
- ・ 使用場面を見てみると、「自由時間」での使用は、小学6年生から中学1年生にかけて34.6%減少し、「朝食前」の使用が約5倍、「放課後・登下校中」の使用が約4倍近く増えている。部活動が始まったことで自由な時間が減り、「放課後・登下校中」の使用や「朝食前」、「その他」の時間での使用が増えたと考えられる。

インターネット端末は何のために使っていますか。(当てはまるものすべてにマーク)



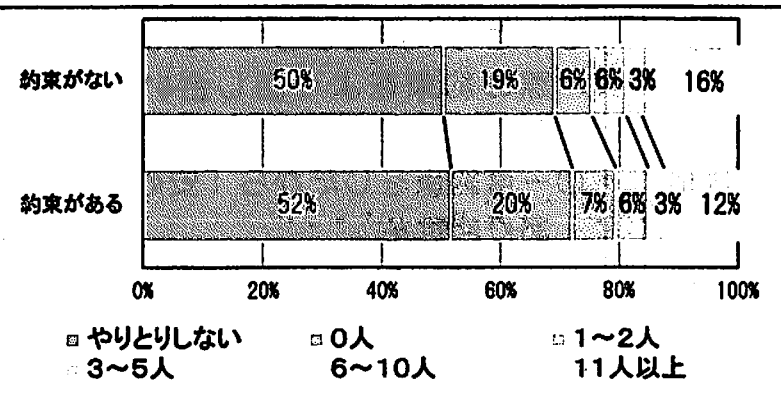
- ・ 中学1年生になると使用が増えるのが、「通話」と「SNS」である。中学生になると、部活や塾などで行動範囲が広がり、帰宅時間が以前より遅くなるので、保護者との連絡手段として使用する「通話」の割合が増えていると考えられる。また、友人とのコミュニケーション手段として「SNS」の使用が増えていると考えられる。
- ・ 小学生の時と比べ、「ゲーム」「動画」「検索」「音楽を聴く」などの項目は減少傾向にあったが、使用時間が増えていることから、個人の嗜好に合わせた使用目的に固定化されてきていると考えられる。

あなたの睡眠時間はおよそどのくらいですか。



3 約束との関わりについて

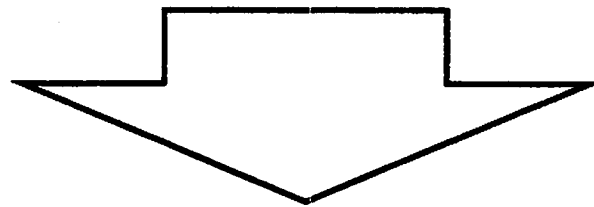
インターネット上で会話する人のうち、直接会ったことのない人は何人いますか。



- ・ 約束の有無と直接会ったことのないネット上の人物とのやりとりでは、約束の有無に関係なく数値に大きな変化が見られない。
- ・ 約30%の子どもが、直接会ったことのない人とネット上でやりとりをしていることがわかる。

第4章 研究のまとめ

- スマホを使用するときのルールは、中学生になると曖昧になってくる。そして、ルールが曖昧になると、長時間の使用が増えてくる。
- マナーや管理に関する事前の説明や、保護者の管理下に置くようなルールの割合は、低い傾向にある。
- 小学6年生から中学1年生にかけてスマホを持つ児童の割合が増え、さらに小学6年生から中学1年生は、長時間の使用が増える。
- 保護者が子どもにスマホを持たせた一番の理由は、「家族間の連絡」である。しかし、実際に持たせている、あるいは今後持たせるとした場合に、保護者が心配としている点は、「勉強の妨げ」「トラブルに巻き込まれる」「就寝時間が遅くなる」の順になっている。
- 中学生になると、小学生の時に比べて学習や部活動で自由な時間が少なくなるにも関わらず、長時間の使用が増えている。それは、朝食前や睡眠時間を減らして、使用していることがわかる。
- 使用目的が、ゲームなどの個人で楽しむものだけでなく、通話やSNSなどコミュニケーションツールとしての使用も増えてくる。



そんな心配を少なくするには・・・

すでにスマホを持たせている方

これからスマホを持たせる予定の方

- スマホを使用する際のメリット、デメリットを理解していますか。
- スマホを持ち始めた時の約束を覚えていますか。
- 時がたつにつれて、子どもの使用時間、使用目的そして意識が変化するのはご存知ですか。

- スマホを使用する際のメリット、デメリットを確認しましょう。
- 子どもの安全を考えて、使用する際の約束をよく話し合いましょう。
- 一度約束をしたから「安心」ではありません。

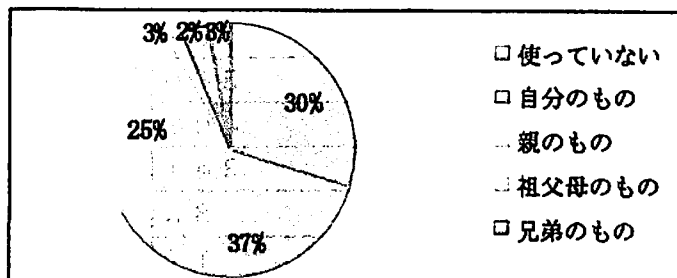
資料編

1年次の研究

資料1 情報端末に関する基礎調査

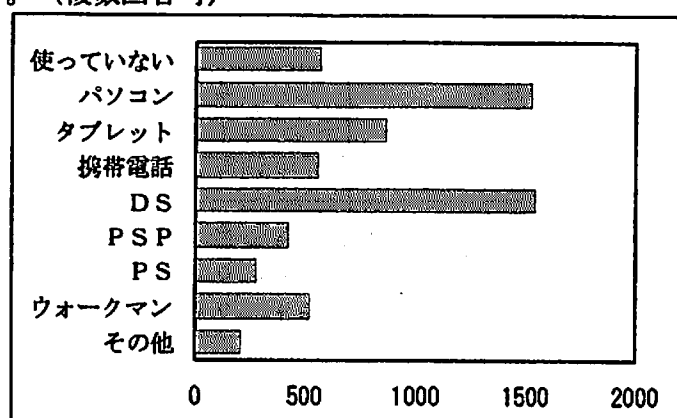
(1) スマホを使っているか。

使っていない	1, 112
自分のもの	1, 393
親のもの	932
祖父母のもの	71
兄弟のもの	129
その他	114



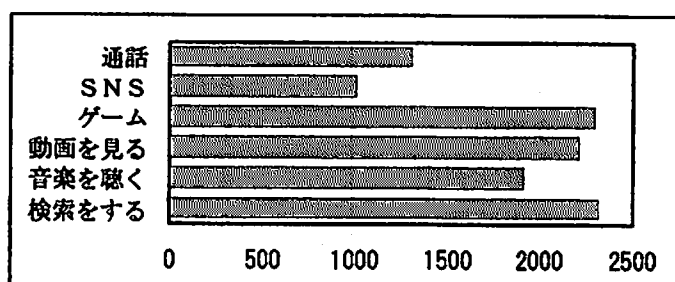
(2) スマホ以外で使っている情報端末は何か。(複数回答可)

使っていない	574
パソコン	1, 529
タブレット	873
携帯電話	566
DS	1, 549
PSP	429
PS	282
ウォークマン	524
その他	209



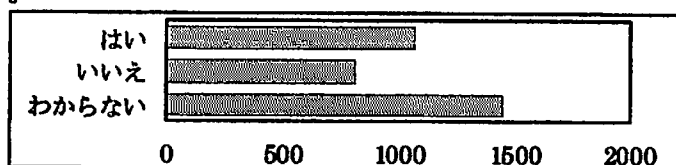
(3) 情報端末の使用目的は何か。

通話	1, 319
SNS	1, 013
ゲーム	2, 303
動画を見る	2, 220
音楽を聴く	1, 910
検索をする	2, 325



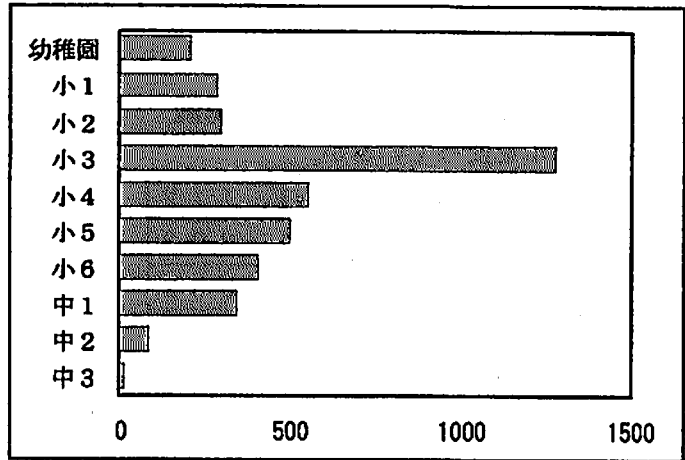
(4) 情報端末はフィルタリングされているか。

はい	1, 075
いいえ	819
わからない	1, 451



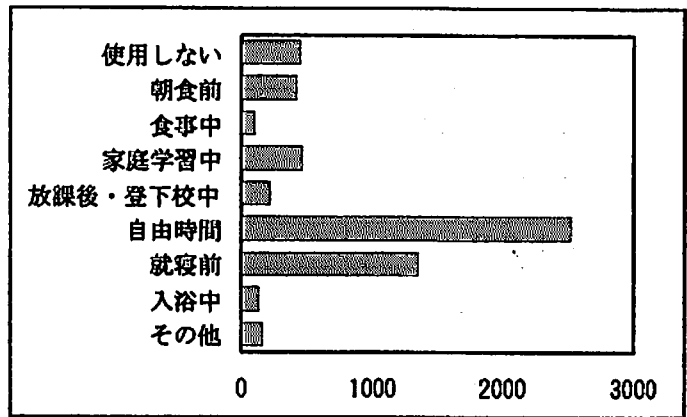
(5) 情報端末を使い始めたのはいつか。

幼稚園	206
小1	284
小2	296
小3	1,278
小4	557
小5	500
小6	407
中1	341
中2	85
中3	17



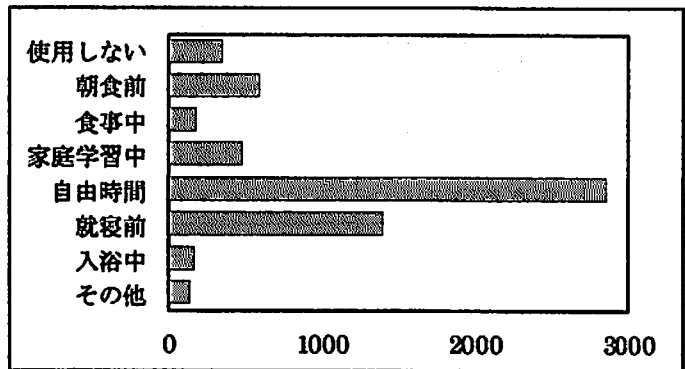
(6) 平日に情報端末はどんな時に使うか。

使用しない	454
朝食前	430
食事中	114
家庭学習中	473
放課後・登下校中	228
自由時間	2,527
就寝前	1,366
入浴中	146
その他	163



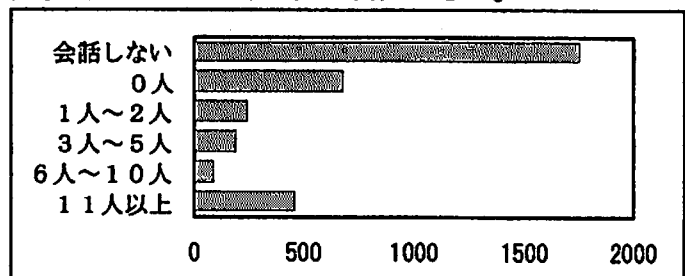
(7) 休日に情報端末はどんな時に使うか。

使用しない	352
朝食前	604
食事中	189
家庭学習中	479
自由時間	2,851
就寝前	1,399
入浴中	173
その他	154



(8) インターネット上で会話する人のうち、直接会ったことのない人は何人いるか。

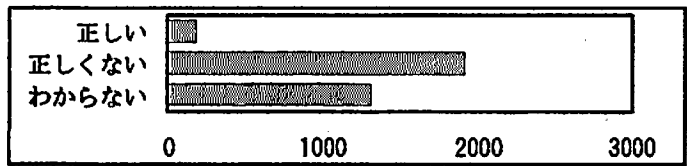
会話しない	1,760
0人	685
1人～2人	244
3人～5人	191
6人～10人	89
11人以上	464



(9) 以下のことは正しいか。

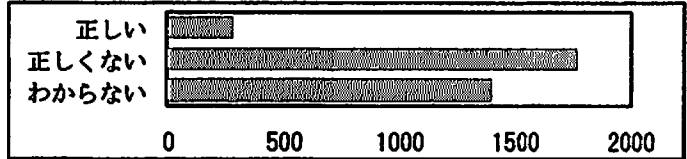
①LINEの仲間内なら何を話しても他の人には知られない。

正しい	194
正しくない	1,926
わからない	1,309



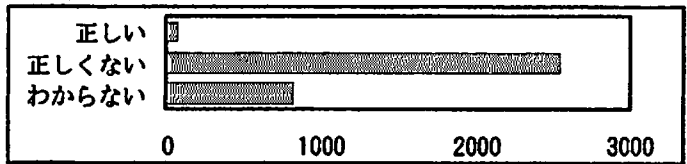
②使っている端末から、自分の住所や性別などの情報は絶対に特定されない。

正しい	281
正しくない	1,767
わからない	1,400



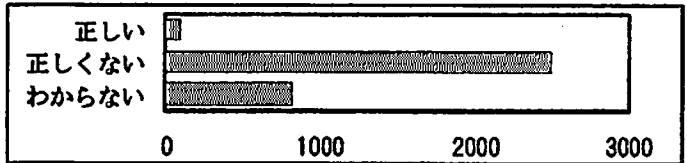
③インターネット上の情報はすべて信用できる。

正しい	74
正しくない	2,555
わからない	816



④インターネット上の画像や写真はすべて自由に使ってよい。

正しい	105
正しくない	2,501
わからない	824

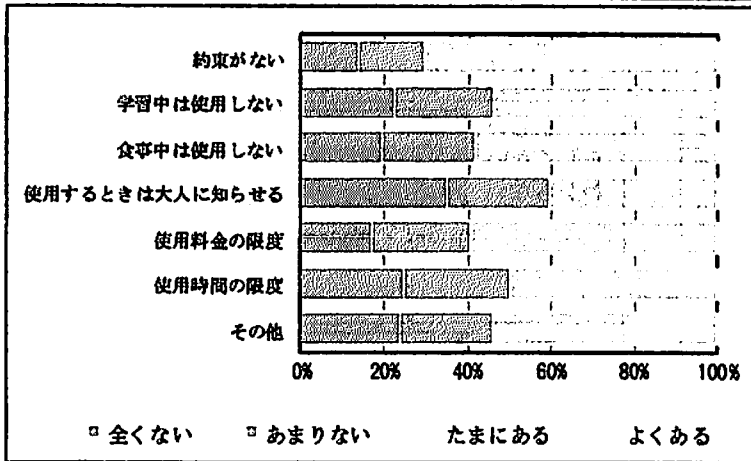


資料2 分析結果

(1) 規範意識との関わり

① 端末を操作するときの約束の有無

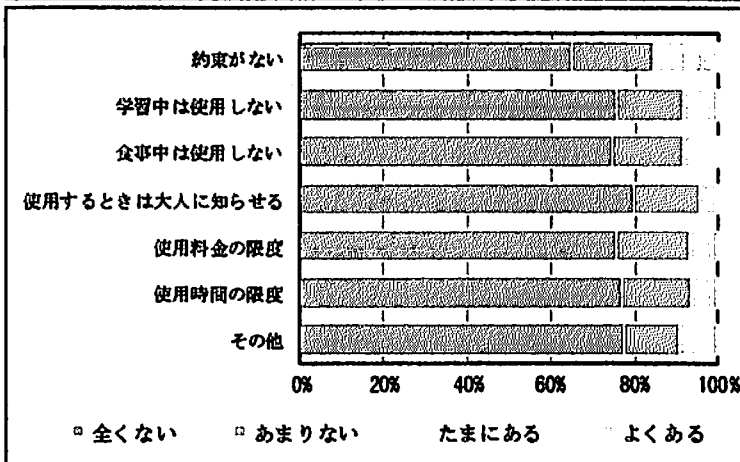
夜中（11時以降）まで起きていることがある。



使用するとき大人に知らせる子どもは、夜更かししない

- ・ ネットを使用する上で、「家庭内の約束がない」と回答した子どもほど、夜中（11時以降）まで起きている割合が高くなっている。約束がある子どもは、大人に知らせて使用していると、夜更かしはしない傾向がある。

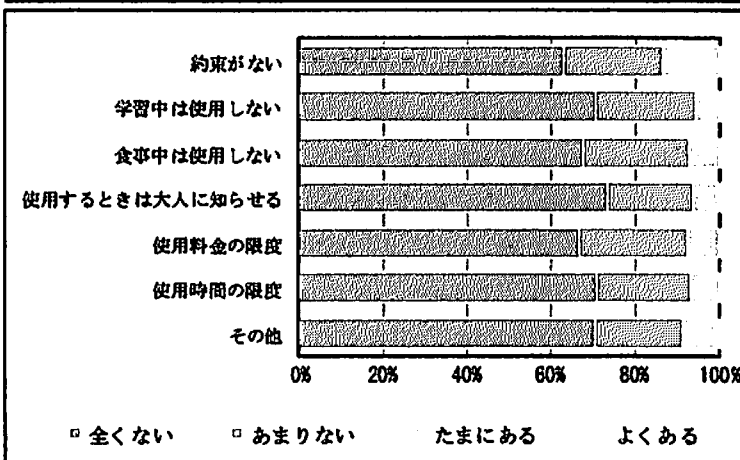
本人がいないところで悪口をいうことがある。



悪口を言う子どもは約束がない

- ・ 特に大きな差はないが、約束がなく使用している子どもは悪口も多い。何かしらの約束があると、人に対する自制心も働く傾向がある。

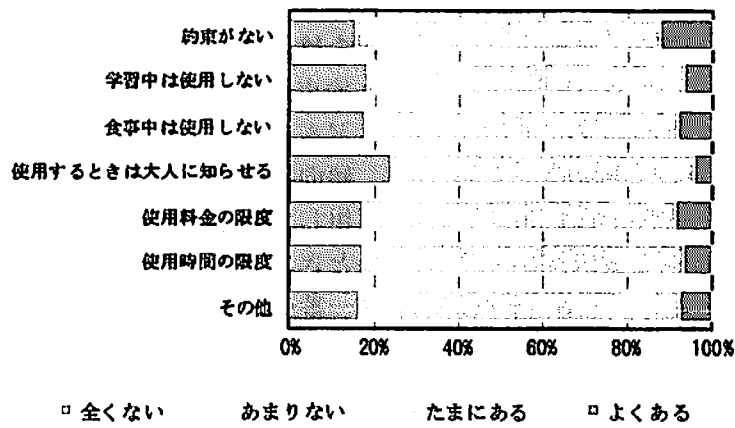
友達発言を笑ったりからかったりすることがある。



からかう子どもは約束がない

- ・ 特に大きな差はないが、約束がなく使用している子どもはからかいも多い。何かしらの約束があると、人に対する自制心も働く傾向がある。

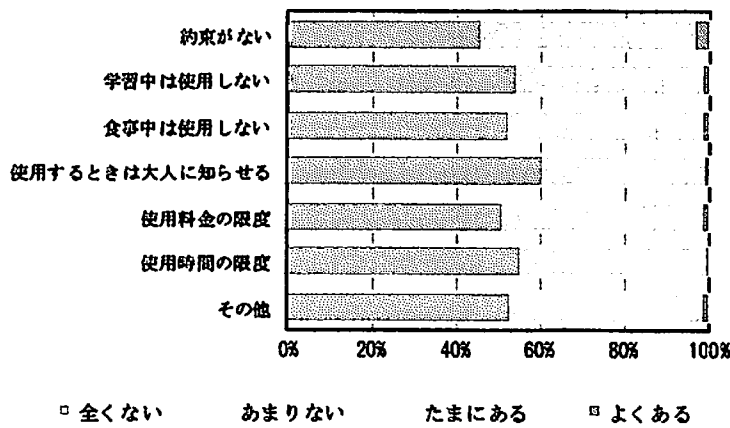
保護者の言うことを聞かないことがある。



使用するときに大人に知らせる子どもは、保護者の言うことも聞く

・特に大きな差はないが、使用する際の約束として、大人に知らせて使用している子どもが、保護者の言うことも聞く傾向がある。

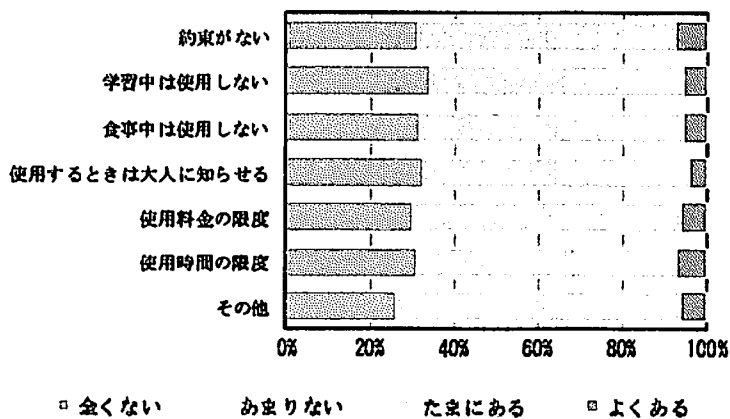
先生の言うことを聞かないことがある。



使用するときに大人に知らせる子どもは、先生の言うことも聞く

・特に大きな差はないが、使用する際の約束として、大人に知らせて使用している子どもが、先生の言うことも聞く傾向がある。

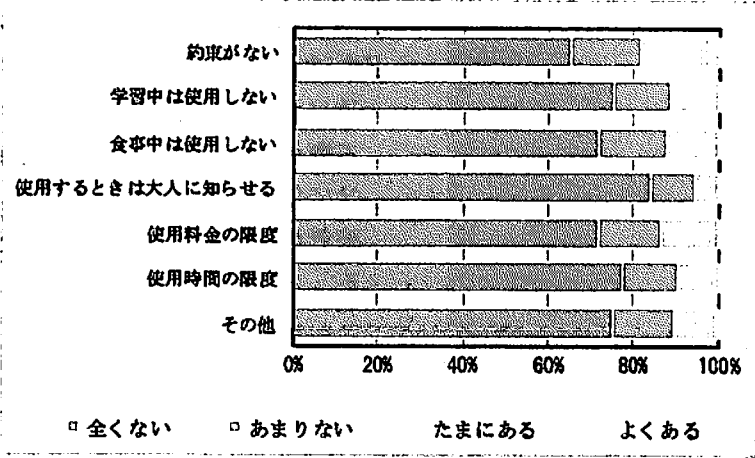
人に暴力を振るう（やられたらやり返すも含む）ことがある。



約束と暴力の関係は薄い

・使用する際の約束については、約束がなく使用している子どもと、何かしらの約束がある中で使用している子どもとの大きな差はない。

自転車の二人乗りをすることがある。



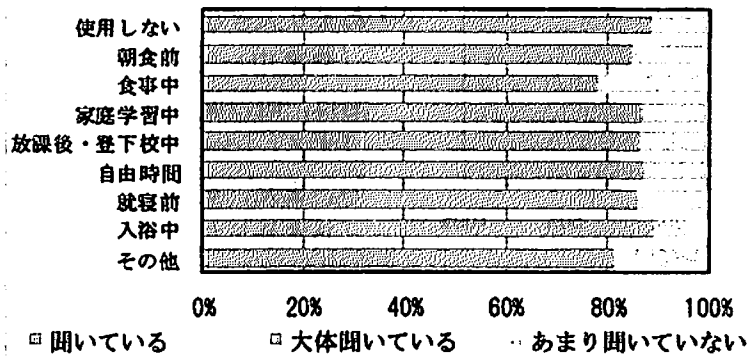
使用するとき大人に知らせる子どもは、二人乗りをしない

・約束がない中で使用している子どもが、二人乗りをしてしまう傾向がある。約束がある中で使用している子どもは、「使用するとき大人に知らせる」約束が一番効果的である。

(2) コミュニケーションとの関わり

① 平日のネット使用時間帯

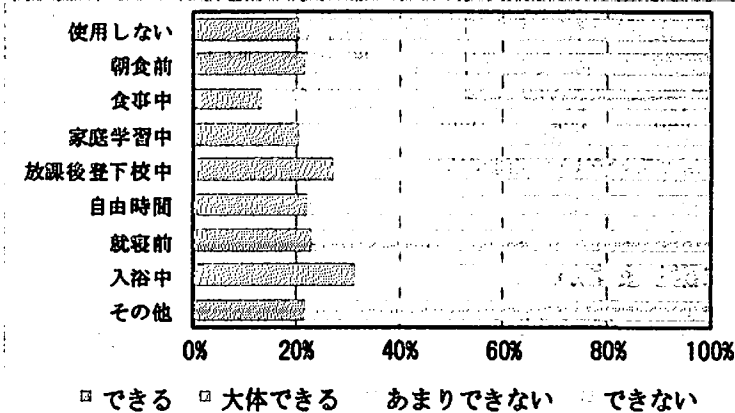
相手がどんな気持ちで話しているのかを考えながら聞いていますか。



相手のことを考えながら聞いている割合が低い「食事中」

- ・「聞いている」と回答した割合が低いのは、「食事中」「入浴中」に使用している子どもである。「使用しない」子どもと比べると、約20%の差がある。
- ・「あまり聞いていない」割合において、「食事中」と回答した子どもは、他を回答した子どもよりも、10%近く割合が高くなっている。

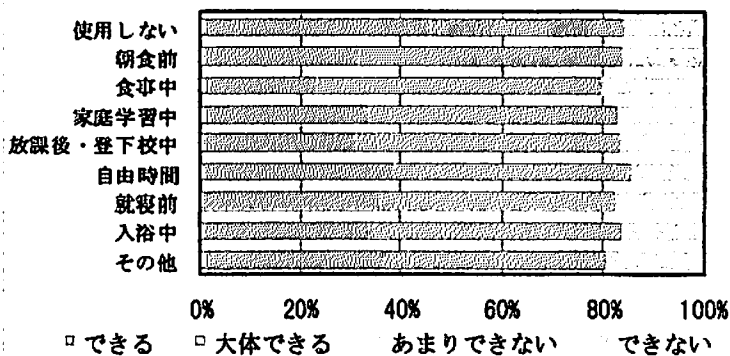
自分の思ったことが相手に伝わるように話せますか。



相手に伝わるように話している割合が低い「食事中」

- ・「大体できる」割合が、他の使用場面よりも低いのが、「食事中」使用している子どもである。家族とコミュニケーションをとる場である「食事中」に使用していると、全体的に相手に伝わるように話すことができる割合が低くなっていることがわかる。

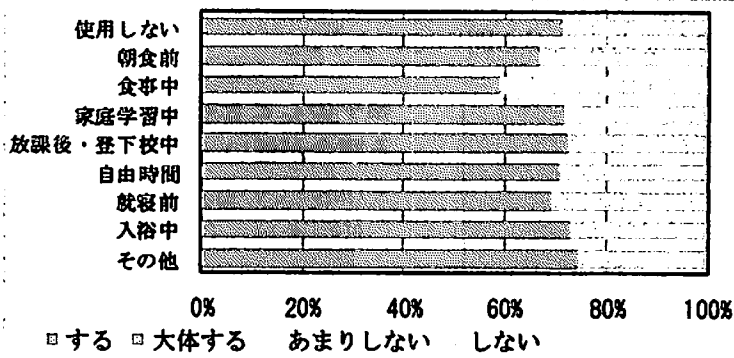
苦手な人とも一緒に話し合えますか。



苦手な人とも一緒に話し合える割合が低い「食事中」

- ・苦手な人と話し合うことが「できる」「大体できる」と回答した割合は、「食事中」に使用している場合が他よりも10%以上低い傾向がある。
- ・他の場面での使用は、ほぼ同じような傾向がみられ、差があまりない。

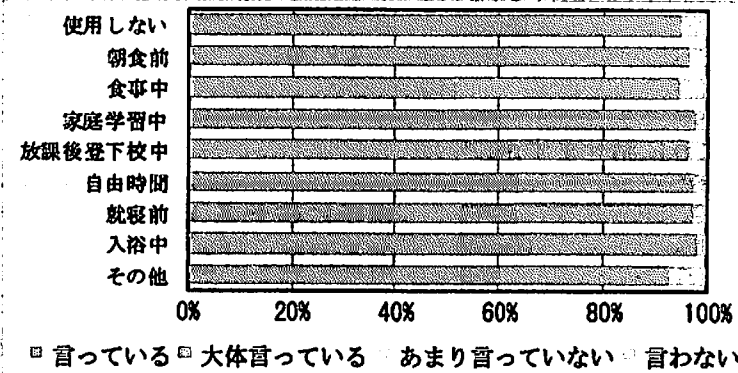
グループで何かをするときに、自分から進んで活動しますか。



グループ活動で消極的な傾向のある「食事中」

・あまり大きな差は見られないが、「食事中」に使用している子どもは、他の場面での使用と比べ、「する」「大体する」の割合が低い。また、約40%の子どもが「あまりしない」「しない」と答えている

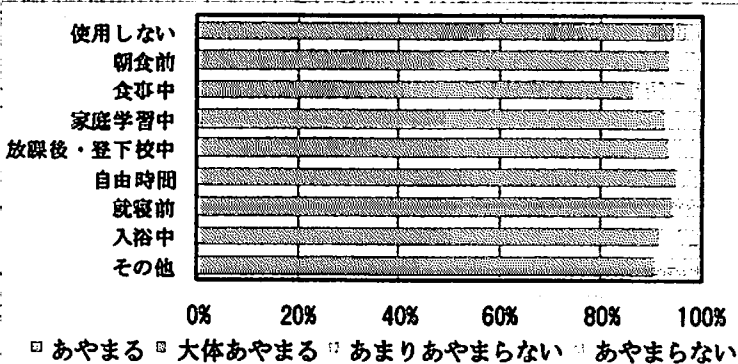
困ったときに助けてもらったり親切にされたりしたときに「ありがとう」と自分の気持ちが伝わるように言いますか。



「ありがとう」を言う割合が下がる傾向にある「食事中」

・大きな差ではないが、「食事中」に使用している子どもの「ありがとうを言っている」割合が、他と比べ約10%低い値を示している。

自分が悪いと思ったときは、素直に謝りますか。



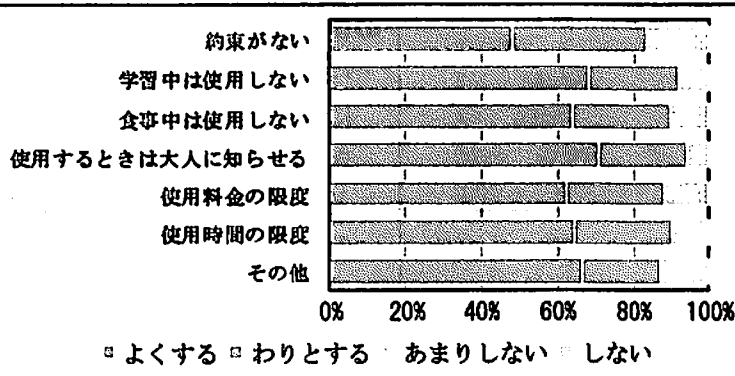
素直に謝る割合が下がる傾向にある「食事中」

・「食事中」に使用している子どもの「あやまる」「大体あやまる」割合が、他の時間帯と比較して低い傾向がある。

(3) 自分自身の気持ちや考えとの関わり

① ネット端末使用の決まりごととの関わり

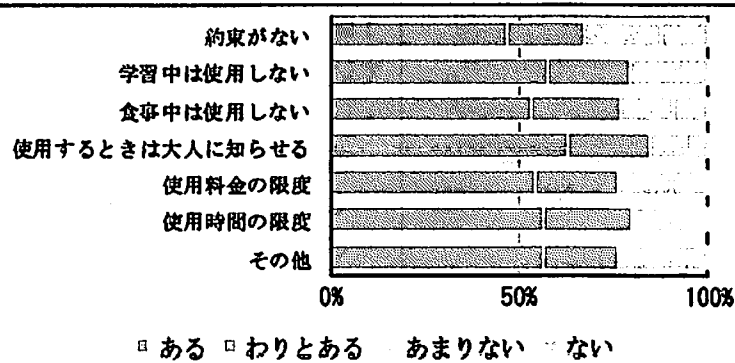
家族でおしゃべりをしますか。



約東がないよりある方が、家族とおしゃべりすると答える割合が高い

・「約東がない」は、他と比べて「家族とおしゃべりをする」割合が低い。

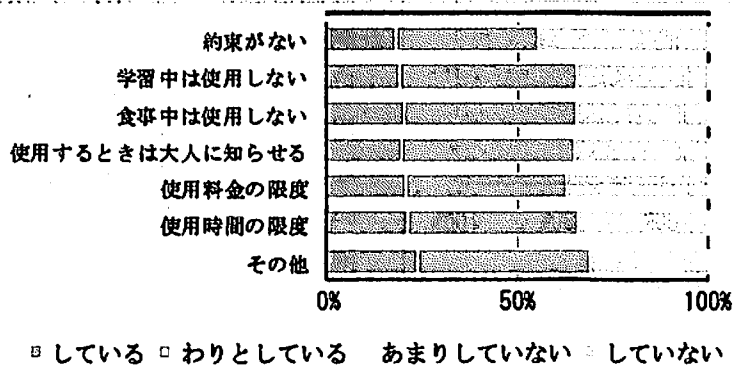
将来の夢や目標がありますか。



約東がないよりある方が、夢や目標があると答える割合が高い

・「約東がない」は、他と比べて「将来の夢や目標がある」割合が低い。

わからないことやもっと知りたいことがある時、自分から進んで資料や情報を集めたり、だれかに質問したりしていますか。

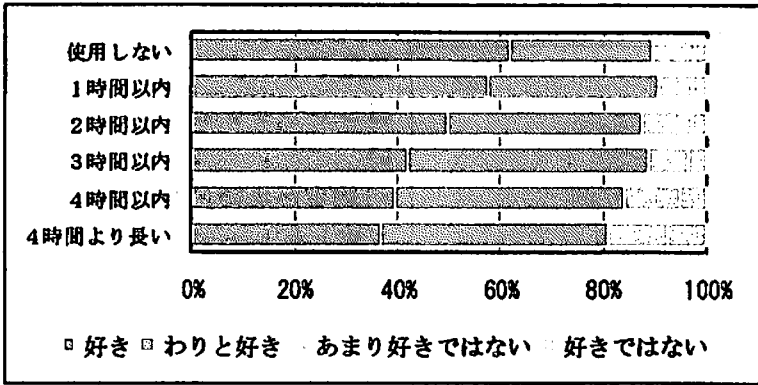


約東がないよりある方が、進んで調べたり質問したりすると答える割合が高い

・「約東がない」は、他と比べて「進んで調べたり質問したりする」割合が低い。

②平日のインターネット使用時間との関わり

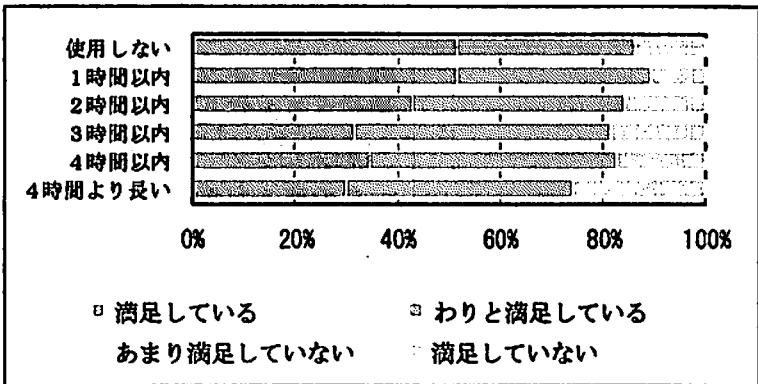
今住んでいる街が好きですか。



ネット使用時間が短いほど、自分の街が好き

- ・「好き」「わりと好き」と肯定的に回答した割合が多いが、「好き」と答えた「4時間以上使用」と「使用しない」「1時間以内」の割合は20%の差がある。

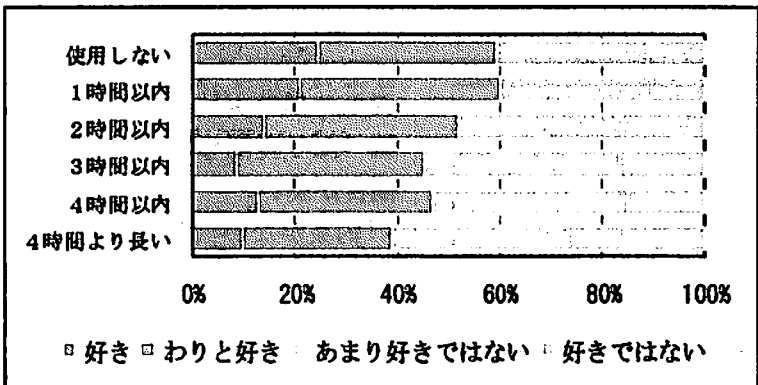
今の生活に満足していますか。



ネット使用時間が短い、もしくは1時間以内が、今の生活に満足している割合が高い

- ・「満足」「わりと満足」ともに、使用時間が短い割合が高く、長くなるにつれて「あまり満足していない」や「満足していない」割合が高くなる。

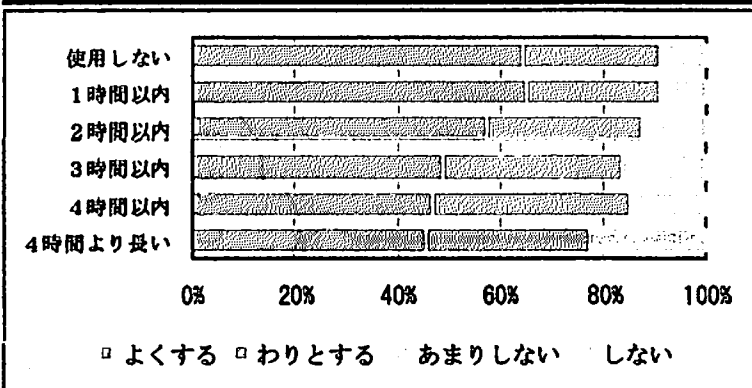
今の自分が好きですか。



ネット使用時間が短い、もしくは1時間以内が、自分のことが好きな割合が高い

- ・「好き」「わりと好き」共に、使用時間が短い割合が高く、長くなるにつれて「あまり満足していない」や「満足していない」割合が高くなる。

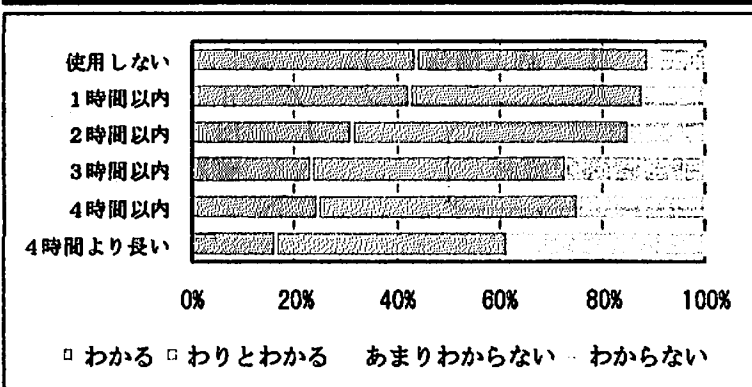
家族でおしゃべりをしますか。



使用時間が短い、もしくは1時間以内が、家族の会話が多い割合が高い

・家族との会話を「わりとする」層まで入れると、もっとも割合が高いのは「1時間以内」となっている。傾向としては、長時間使う方が家族との会話をしない傾向にある。

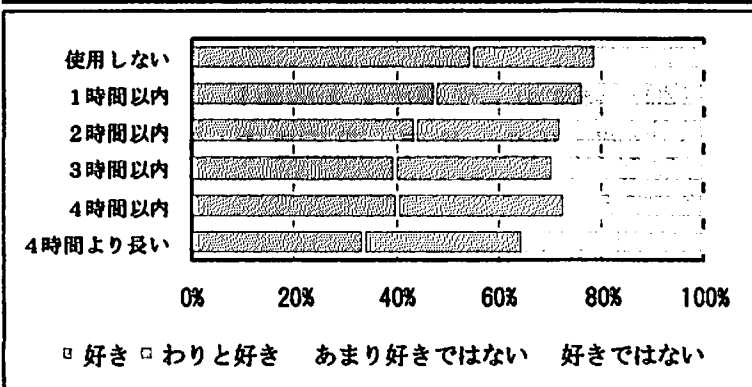
学校の授業はわかりますか。



使用時間が短い、もしくは1時間以内が、学校の授業がわかると答える割合が高い

・「わかる」「わりとわかる」とともに、使用時間が短い割合が高く、長くなるにつれて「あまりわからない」や「わからない」割合が高くなる。

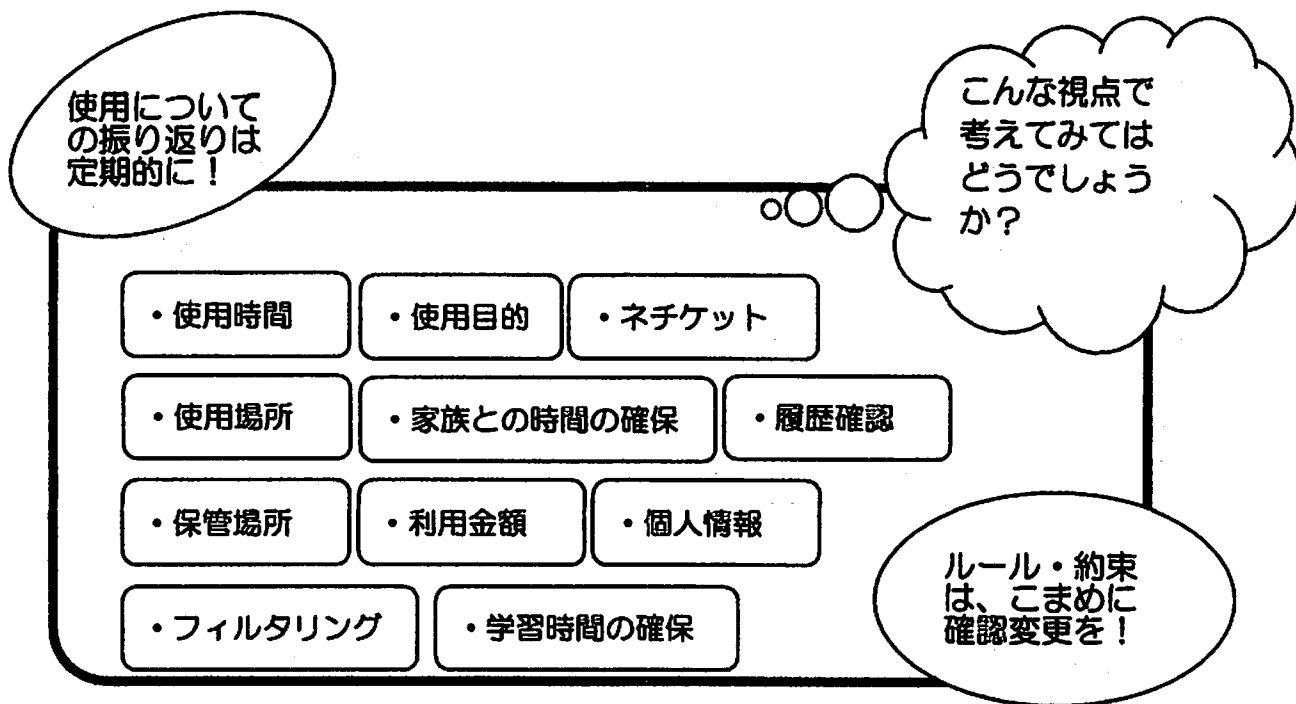
読書をすることは好きですか。



使用時間が短い、もしくは1時間以内が、読書が好きと答える割合が高い

・「好き」「わりと好き」共に、使用時間が短い割合が高く、長くなるにつれて「あまり好きではない」や「好きではない」割合が高くなる。

「確認しよう、スマホのルール！！」



【ルールの例】

- 一日の使用時間は（ ）以内とする。
- 夜（ ）時以降は、使用しない。
- 家の中では、家族のいる場所で使用する。
- 公共の場ではマナーを守って使用する。
- 決められた場所で充電する。
- （ ）は使用しない。【例；食事中・学習中・入浴中】
- 個人情報は、ネット上に公開しない。【例；氏名・住所・電話番号・写真など】
- 困ったときは、家族・学校に相談をする。
- フィルタリングを設定する。
- SNSなどで、他人を傷つけることはしない。
- 有料アプリや課金アイテム等の利用はしない。利用する場合は、家の人の許可を得る。



選択式の回答は、該当箇所のマーク○を塗りつぶしてご回答ください。

○: 空白マーク ⊙: 正しいぬりつぶし ⊘: 不十分なぬりつぶし

記述式の回答は、回答欄からはみ出さないように記入してください。

この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り目を付けたりしないように注意してください。

【設問1】 あなたとインターネットとの関わりについてお答えください。

(1) あなたの学年を教えてください。

- 小4 小5 小6 中1 中2 中3

(2) あなたの性別を教えてください。

- 男 女

(3) 自分の部屋はありますか。

- ある ない きょうだいと一緒に

(4) あなたの睡眠時間はおよそどのくらいですか。

- 4時間未満 5時間程度 6時間程度 7時間程度 8時間程度 それ以上

(5) あなたはスマートフォン（以下、スマホ）を使っていますか。（当てはまるものすべてにマーク）

- 使っていない 自分のもの 親のもの 祖父母のもの きょうだいのもの その他

(6) その他解答欄

(7) スマホ以外であなたがインターネットに接続するために使っている端末（機械）を教えてください。（当てはまるものすべてにマーク）

- 使っていない パソコン タブレット 携帯電話 DS PSP
 PS ウォークマン その他

(8) その他解答欄

(9) 5や7で答えたインターネット端末は何のために使っていますか。（当てはまるものすべてにマーク）

- 通話 SNS ゲーム 動画を見る 音楽を聴く 検索をする その他

(10) その他解答欄

(11) インターネット端末を使い始めたのはいつごろですか。

- 幼稚園 小1 小2 小3 小4 小5
 小6 中1 中2 中3

(12) 自分のインターネット端末を持っている人に聞きます。その端末を持ち始めた時期はいつ頃ですか。

- 幼稚園 小1 小2 小3 小4 小5
 小6 中1 中2 中3

(13) 平日にインターネット端末を使用する時間を教えてください。

- 使用しない 1時間以内 2時間以内 3時間以内 4時間以内 4時間より長い

(14) 平日にインターネット端末はどんな時に使いますか。（当てはまるものすべてにマーク）

- 使用しない 朝食前 食事中 家庭学習中 放課後・登下校中 自由時間中
 就寝前 入浴中 その他



(15) その他解答欄

(16) 休日にインターネット端末を使用する時間を教えてください。

- 使用しない
 1時間以内
 2時間以内
 3時間以内
 4時間以内
 4時間より長い

(17) 休日にインターネット端末はどんな時に使いますか。(当てはまるものすべてにマーク)

- 使用しない
 朝食前
 食事中
 家庭学習中
 自由時間
 就寝前
 入浴中
 その他

(18) その他解答欄

(19) その端末は、フィルタリング(使用制限)されていますか。

- はい
 いいえ
 わからない

(20) その端末を使う時、どんな約束がありますか。(当てはまるものすべてにマーク)

- 約束がない
 学習中は使用しない
 食事中は使用しない
 使用するとき
は大人に知らせる
 使用料金の限
度
 使用時間の限
度
 その他

(21) その他解答欄

(22) 自分の画像・写真をアップロードした(インターネット上にのせた)ことがありますか。

- ある
 ない

(23) 自分以外の人画像・写真をアップロードしたことがありますか。

- ある
 ない

(24) インターネット上で会話する人のうち、直接会ったことのない人は何人いますか。

- 会話しない
 0人
 1~2人
 3~5人
 6~10人
 11人以上

以下の事柄は、正しいですか。

(25) LINEの仲間内でなら何を話しても他の人には知られない。

- 正しい
 正しくない
 分からない

(26) 使っている端末からでは自分の情報(住所・性別・年齢など)は絶対に特定されない。

- 正しい
 正しくない
 分からない

(27) インターネット上の情報は全て信用できる。

- 正しい
 正しくない
 分からない

(28) インターネット上の画像・写真は全て自由に使ってよい。

- 正しい
 正しくない
 分からない

【設問2】 あなた自身の行動についてお答えください。

(1)

		全くない	あまりない	たまにある	よくある
1	人に暴力を振るう(やられたらやり返すも含む)ことがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	自転車の二人乗りをすることがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	人にうそをついたり、ごまかしたりすることがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	本人がいなくて悪口を言うことがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	夜中(11時以降)まで起きていることがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



	全くない	あまりない	たまにある	よくある
6 保願者のいうことを聞かないことがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 学校に遅刻をすることがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 学校に必要なものを持ち込むことがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 友達が発言を笑ったりからかったりすることがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 自分の係や仕事を最後まで行わないことがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11 授業中に寝てしまうことがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12 先生の言うことを聞かないことがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13 お酒を飲むことがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14 髪を染めることがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15 友達が困っていても、見て見ぬふりをすることがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【設問3】 人との関わりについてお答えください。

- (1) 困ったときに助けってもらったり親切にされたりしたときに「ありがとう」と自分の気持ちが伝わるように言いますか。
 言っている だいたい言っている あまり言っていない 言わない
- (2) 自分が悪いと思ったときは、素直に謝（あやま）りますか。
 あやまる だいたいあやまる あまりあやまらない あやまらない
- (3) 自分の思ったことが相手に伝わるように話せますか。
 できる だいたいできる あまりできない できない
- (4) 納得ができないことを言われたときに、相手に自分の考えを伝えられますか。
 できる だいたいできる あまりできない できない
- (5) 相手がどんな気持ちで話しているのかを考えながら聞いていますか。
 聞いている だいたい聞いている あまり聞いていない 聞いていない
- (6) 自分と違う意見や考えをわかろうとしますか。
 する だいたいする あまりしない しない
- (7) グループで何かをするときに、自分から進んで活動しますか。
 する だいたいする あまりしない しない
- (8) 苦手な人とも一緒に話し合えますか。
 できる だいたいできる あまりできない できない
- (9) いろいろな人の意見を聞いて、自分の考えをもてますか。
 もてる だいたいもてる あまりもてない もてない
- (10) けんかなどをした相手とうまく仲直りできますか。
 できる だいたいできる あまりできない できない
- (11) 初めて会った人に自分から話しかけられますか。
 できる だいたいできる あまりできない できない

【設問4】 あなたの気持ちや考えについてお答えください。

- (1) 人より目立ったり、すごいと思われたりしたいと思いますか。
 思う わりと思う あまり思わない 思わない

☆マークのしかた



- (2) 今住んでいる街が好きですか。
 好き わりと好き あまり好きではない 好きではない
- (3) 今の生活に満足していますか。
 満足している わりと満足している あまり満足していない 満足していない
- (4) 今の自分は好きですか。
 好き わりと好き あまり好きではない 好きではない
- (5) 相談を聞いてくれたり、悩みにアドバイスしてくれたりする人がいますか。
 いる わりといる あまりいない いない
- (6) 頼れる友だちの数は何人くらいですか。
 0人 1～5人 6～10人 11人以上
- (7) 人から自分がどう思われているか気になりますか。
 気になる わりと気になる あまり気にならない 気にならない
- (8) 将来の夢や目標がありますか。
 ある わりとある あまりない ない
- (9) わからないことやもっと知りたいことがある時、自分から進んで資料や情報を探めたり、だれかに質問したりしていますか。
 している わりとしている あまりしていない していない
- (10) 自分の将来の目標に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりしていますか。
 している わりとしている あまりしていない していない
- (11) 自分は、物事を最後までやり抜くなど根気強いほうだと思いますか。
 思う わりと思う あまり思わない 思わない
- (12) 家族でおしゃべりをしますか。
 よくする わりとする あまりしない しない
- (13) 学校の授業はわかりますか。
 わかる わりとわかる あまりわからない わからない
- (14) 読書をするのは好きですか。
 好き わりと好き あまり好きではない 好きではない
- (15) 得意な教科を教えてください。(3つまで)
 国語 算数・数学 理科 社会 外国語・英語 図工・美術 音楽 体育・保健
 技術 家庭科 総合的な学習の時間 なし
- (16) 不得意な教科を教えてください。(3つまで)
 国語 算数・数学 理科 社会 外国語・英語 図工・美術 音楽 体育・保健
 技術 家庭科 総合的な学習の時間 なし
- (17) 好きな教科を教えてください。(3つまで)
 国語 算数・数学 理科 社会 外国語・英語 図工・美術 音楽 体育・保健
 技術 家庭科 総合的な学習の時間 なし
- (18) 嫌いな教科を教えてください。(3つまで)
 国語 算数・数学 理科 社会 外国語・英語 図工・美術 音楽 体育・保健
 技術 家庭科 総合的な学習の時間 なし



選択式の回答は、該当箇所のマーク○を塗りつぶしてご回答ください。

○: 空白マーク ⊙: 正しいぬりつぶし ⊘: 不十分なぬりつぶし

記述式の回答は、回答欄からはみ出さないように記入してください。

この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したりしないように注意してください。

(1) お子様の性別を教えてください。

- 男 女

(2) あなたは、お子様にスマホ又は携帯電話を持たせていますか。

- 持たせている 持たせていない

※(3)は、(2)で携帯電話を持たせていないと答えた保護者の方への質問項目です。(2)で、お子様に携帯電話を持たせていると答えた保護者の方は、(5)にお進みください。

(3) 携帯電話を持たせていない一番の理由は何ですか。(どれか1つにマーク)

- 特に持たせる必要がない メールやSNSで、いじめやトラブルにあわせたくない 経済的な負担になる
- SNS等で見知らぬ人と交流することは良くない 生活のリズムが崩れる 勉強の妨げになる
- 家族との会話が少なくなる 子どもが携帯電話に興味がない その他

(4) その他解答欄

※(5)から(16)までは、(2)で携帯電話を持たせていると答えた保護者の方への質問項目です。(2)で、お子様に携帯電話を持たせていないと答えた保護者の方は、(17)にお進みください。

(5) あなたのお子様に携帯電話を持たせたのは、何年生の時でしたか。

- 小3以前 小4 小5 小6 中1 中2 中3

(6) あなたのお子様に携帯電話を持たせた一番の理由は何ですか。(どれか1つにマーク)

- 子どもにせがまれた 家族間でいつでも連絡がとれる
- 居場所などがわかり、安心できる 友だちのつきあいに必要
- その他

(7) その他解答欄

(8) あなたのご家庭では、携帯電話を持たせる前に、次のようなことをお子様と話し合ったり、説明したりしましたか。(当てはまるものすべてにマーク)

- 利用料金のこと 家の中の置き場所 使う時間帯(夜は何時まで、食事中は禁止等) 公共の場所等での使い方のマナー 個人情報の取り扱い上の注意
- メールやSNSへの書き込みで生じるトラブルのこと 何かトラブルに巻き込まれたときの相談のこと フィルタリングの設定のこと インターネットの利用における危険性のこと とくに話し合ったり、説明したりしていない
- その他

(9) その他解答欄

(10) あなたのご家庭では、お子様の携帯電話の利用について、ルールを決めていますか。

- 決めている ⇒(11)以降にお進みください
- 決めていない ⇒(14)へお進みください ((11)~(13)は回答不要です。)





(11) どのようなルールですか。(当てはまるものすべてにマーク)

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 利用料金の上限 (定額料金制は除きます) | <input type="checkbox"/> 利用する時間や場面 (食事中は使わない等) |
| <input type="checkbox"/> 利用する場所 (自分の部屋では使わない等) | <input type="checkbox"/> メールの使用禁止又は送る相手の制限 |
| <input type="checkbox"/> サイトの閲覧禁止又は制限 (SNSへの書き込みやアダルトサイトなど) | <input type="checkbox"/> 守るべき利用マナー (他人を傷つけることは書かない等) |
| <input type="checkbox"/> 履歴を保護者が確認すること | <input type="checkbox"/> ルールを破ったときの罰則 |
| <input type="checkbox"/> その他 | |

(12) その他解答欄

(13) あなたのお子様は、決められたルールを守っていると思いますか。(どれか1つにマーク)

- | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 守っていると思う | <input type="checkbox"/> だいたい守っていると思う | <input type="checkbox"/> 守っていないと思う |
| <input type="checkbox"/> わからない | | |

(14) あなたのお子様の携帯電話には、フィルタリング (アクセス制限) を設定していますか。(どれか1つにマーク)

- | | | |
|--|--|--|
| <input type="checkbox"/> している | <input type="checkbox"/> 初めからしていない | <input type="checkbox"/> 初めはしていたが、その後で解除した |
| <input type="checkbox"/> 設定したかどうかわからない | <input type="checkbox"/> そもそもフィルタリングのことを知らない | |

(15) あなたのお子様は、普段どのようなサイト・アプリを利用しているかご存じですか。(当てはまるものすべてにマーク)

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 音楽 | <input type="checkbox"/> 動画・画像 |
| <input type="checkbox"/> ゲーム | <input type="checkbox"/> 小説 |
| <input type="checkbox"/> 通信販売 | <input type="checkbox"/> SNS |
| <input type="checkbox"/> 利用していない | <input type="checkbox"/> わからない |
| <input type="checkbox"/> その他 | |

(16) その他解答欄

(17) あなたが、子どもに携帯電話を持たせていることで、あるいは持たせるとした場合に心配な点は、どのようなことですか。(当てはまるものすべてにマーク)

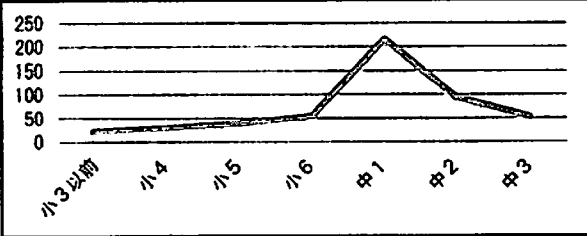
- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 利用料金の負担 | <input type="checkbox"/> 勉強の妨げになる |
| <input type="checkbox"/> 子どもの交友関係がわからなくなる | <input type="checkbox"/> 就寝時間が遅くなる |
| <input type="checkbox"/> メールなどで嫌がらせを受ける | <input type="checkbox"/> トラブルに巻き込まれる |
| <input type="checkbox"/> 家族との会話が少なくなる | <input type="checkbox"/> 他人と対面でふれあう経験が不足する |
| <input type="checkbox"/> 特に心配なことはない | <input type="checkbox"/> わからない |
| <input type="checkbox"/> その他 | |

(18) その他解答欄

4 保護者の見解は？

中3の保護者にアンケートを実施し、子どもに「スマホを持たせている」と回答した 508 名について、持たせる際にどのようなことを子どもと話したのかを調査しました。

1 スマホを持たせた時期

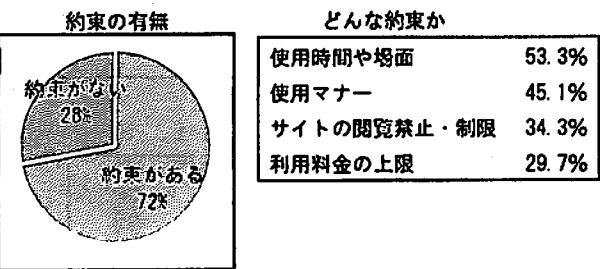


2 スマホを持たせた理由

家族間の連絡	47.5%
居場所がわかる	16.9%
友達付き合い	12.6%



3 スマホを持たせた際の約束について



連絡を取る手段のスマホ でも子どもの使い道はそれだけ？

中学進学を機に持たせる家庭が多く、その目的は「家族間で連絡を取るため」でした。さらに、70%以上の保護者の方が、スマホを持たせる前には、「利用時間や場面」「使用マナー」などについて、子どもと話し合ったり、説明したりしています。

しかし、スマホは電話やメールだけの機械ではありません。いろいろな機能を持っています。子どもはすぐに、その機能を使えるようになります。使用の目的・用途について、家庭でしっかり話し合うことが、トラブル防止のカギになるのではないのでしょうか。

今インターネットが不可欠な時代です。しかし、スマホの便利さのみにとらわれ、安易に買い与えることは、多くの危険をはらみます。よく話し合い、きちんとルールを決めることが重要です。そして、子どもの成長に合わせて、ルールを作ったり見直したりすることが大切です。

5 自分のことは自分で守る でもその前に・・・

子どもたちの中にある様々なトラブルの中で、その原因の一つにスマホが関わっていることはご存じのとおりです。この安房地域でも多くなっており、保護者としては心配なところ です。

そんな心配を少なくするには・・・

すでにスマホを持たせている方は・・・

これからスマホを持たせる予定の方は・・・

- スマホを使用する際のメリット、デメリットを理解していますか。
- スマホを持ち始めた時の約束を覚えていますか。
- 時がたつにつれて、子どもの使用時間、使用目的、そして意識が変化するのはご存知ですか。

- スマホを使用する際のメリット、デメリットを確認しましょう。
- 子どもの安全を考えて、使用する際の約束をよく話し合いましょう。
- 一度約束をしたから「安心」ではありません。

だからこそ

「確認しよう、スマホのルール!!」

・使用場所	・保管場所	・学習時間の確保
・使用時間	・使用金額	・フィルタリング
・使用目的	・履歴確認	・ネチケット
・個人情報	・家族との時間の確保	

- 使用についての振り返りは定期的に!
- ルール・約束は、こまめな確認変更を!

<ルール確認・話し合いのヒント>

- ・ スマホがなぜ必要かを確認する。
- ・ 持っていないと困るとき、使わなくてもよいときについて話し合う。
- ・ 周囲への迷惑となる行為やマナーを確認する。
- ・ 友人の家にもルールがあることを理解させる。
- ・ どんなどきに保護者に相談すべきか話し合う。

平成 29 年 2 月 安房教育研究所調査研究部

保存版

子どもたちはスマホと上手に付き合っていますか？
～家で考えるネット対策～

1 安房地域の子どもの実態

【調査対象】 平成 27 年度：安房郡市内で安房教育研究所所属の在籍する学校の小4～中3の児童・生徒
平成 28 年度：安房郡市内の全中1生徒と中3の保護者

【調査人数】

学年	平成 27 年度		平成 28 年度		合計
	人数	割合	人数	割合	
H27	小4	570名	中1	683名	3,536名
	小5	554名	中2	628名	
	小6	497名	中3	604名	
H28	中1	889名	保護者	784名	

1 スマートフォン所持率

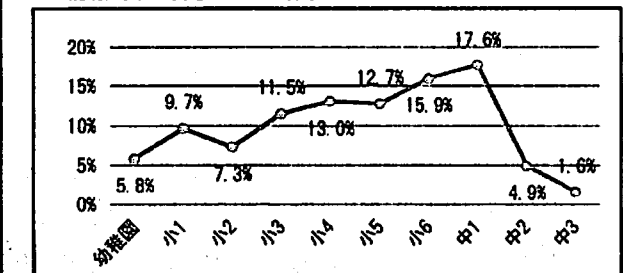
自分のもの	家族のもの	持っていない
37.1%	33.3%	29.6%



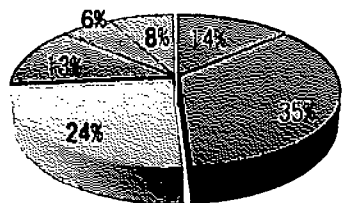
<スマホ以外の情報端末所持率>

端末の種類	所持率
DS・3DS	35.0%
パソコン	34.5%
タブレット	19.7%
携帯電話	12.8%

2 情報端末を持ち始めた時期

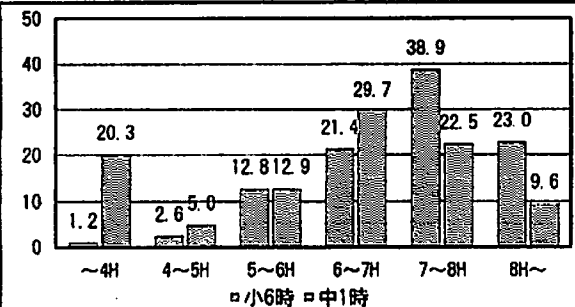


3 平日、情報端末を利用する時間



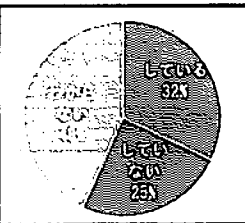
- 使用しない
- 1時間以内
- 2時間以内
- 3時間以内
- 4時間以内
- 4時間より長い

4 睡眠時間の経年変化 (H27小6 → H28中1)



5 個人情報保護の観点

情報端末へのフィルタリング



画像をネット上に掲載した経験

	自分の写真	友人の写真
ある	20.0%	19.6%
ない	80.0%	80.4%

スマホ使用率約70% 睡眠時間減少は要注意!

安房の子どもの約70%が、スマホなどの情報端末を使用していることがわかりました。また、使用し始めた時期は、小6や中1で多く、中学入学を機会に購入していると考えられます。

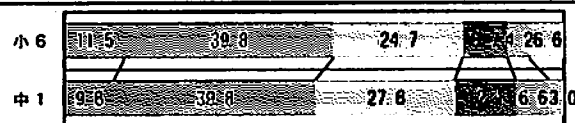
平日の使用時間では、約50%が使用していない、もしくは1時間以内ですが、4時間以上使用している子どもが8%います。そのため、同じ子どもに小6時と中1時の2回、睡眠時間を調べたところ、4時間未満の子どもが、中1になると約20%に急増しています。

また、フィルタリングに関して、「している」と回答した子どもは、32%に止まりました。自分や友人の画像・写真をネット上に掲載した子どもが約20%おり、危険性を考えず安易に掲載していると考えられます。

2 小6と中1の違い

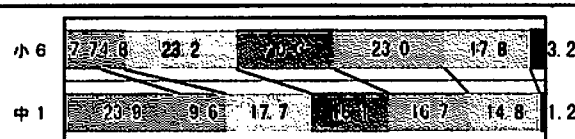
小学校から中学校に上がる際に、スマホを持たせようとする保護者は、全国的にも多いです。そこで、小6と中1の2年にわたって同一のアンケートを取り、実際に子どもがスマホをどのように使っているかを調査しました。

1 使用時間



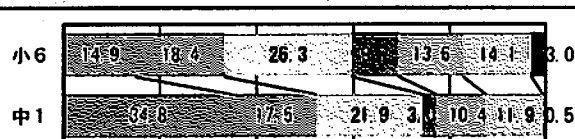
- 使用しない
- 1時間以内
- 2時間以内
- 3時間以内
- 4時間以内
- 4時間より長い

2 使用目的



- 通話
- SNS
- ゲーム
- 動画を見る
- 検索をする
- 音楽を聴く
- その他

3 使用時の約束について



- 約束がない
- 学習中は使用しない
- 使用中は使用しない
- 使用するとき大人に知らせる
- 使用料金の限度
- 使用時間の限度
- その他

家庭内のルール 小6から中1にかけて重要!!

使用時間は、中1のほうが全体的に長くなっています。使用目的から考えると、SNS等で友達とのやり取りが増えてきたことが要因ではないかと考えられます。

また、使用目的について、小6では個人的に楽しむために使用していたのに対し、中1になると、友達との関わりのために使用することが加わってきます。それは、中学になり、交流の範囲が広がってきたためと考えられます。

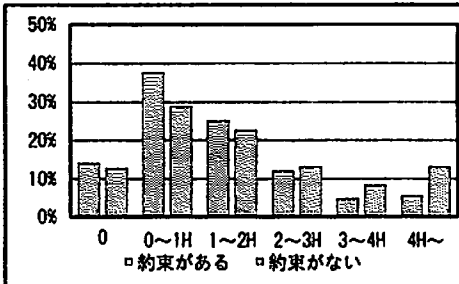
使用時の約束については、約束がないと思っている子どもが倍増しています。

3 使用に関して約束があると・・・

子どもにとってスマホは、便利で楽しいもの。だからこそ、使用については、子どもと保護者との間で、約束が必要なのではないでしょうか？

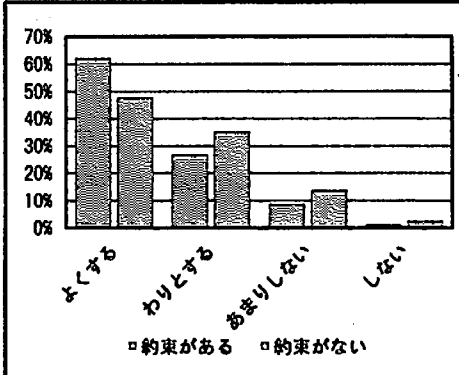
そこで、約束の有無が子どもの生活にどのように変化を与えているかを調査しました。

1 使用時間



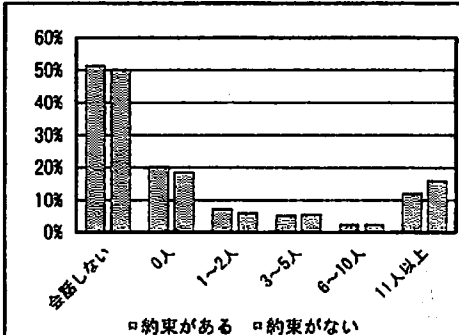
約束次第で、使用時間に変化が！家族で約束を決めよう！

2 家族との会話



約束があると、家族との会話も弾む傾向に！

3 ネット上の見知らぬ人とのやりとり



約束があっても、約30%の子どもがネット上の見知らぬ人とやりとりしている！こまめなチェックが必要！